



光山小学校

～ひまわりの学校～



すべては子どものために ～自分で考えて行動できる子の育成～

学校教育目標の具現化に向けて、めざす学校像を『一人ひとりの子どもが笑顔で輝く学校（楽しい学校）』『保護者や地域に信頼され、愛される学校（開かれた学校）』『子どもと共に喜び、子どもと共に頑張る教師のいる学校（やりがいのある学校）』とし、全教職員が「全ては子ども達のために」を合い言葉に、学習規律を大切にした指導を推進しています。

問合せ 毛呂山町立光山小学校 ☎ 049(294)3032

城西大学留学生との交流会

11月27日（月）に、来校した7人の留学生（韓国、ポーランド、ハンガリー）と交流会をし、3年生と「日本の文化紹介」「留学生の母国語の紹介」を行いました。給食も一緒に食べた後、外国語活動の一環として、英語を使って命令ゲームやクリスマスバスケットで楽しく交流しました。



▲ 交流会の様子

豊かな心を育てる教育活動

☆ たてわり全校遠足（ひまわり遠足）

4月には、全校で大類グラウンドへ徒歩遠足に行きました。6年生がリーダーとなって、チェックポイントでの問題を協力して解きながら、ゴールの大類グラウンドで、みんなで仲よく活動し帰ってきました。



▲ ひまわり遠足の様子

☆ 2年生の芋掘り体験活動



2年生が地域の方からいただいた『さつまいもの苗』を育て10月に掘り出しました。

◀ 芋掘りの様子



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

災害時、適切な行動を！ 防災講演会

1月14日、ウィズもろやまに防災システム研究所所長の山村武彦さんを招き、防災講演会を開催しました。今回は「大規模災害に備えて ～命を守る準備と行動～」と題し、住民1人ひとりができる災害への備えや「近助（きんじょ）の精神」として、地域における支え合いの重要性についてお話しいただきました。また、ロビーで毛呂山町全国被災地復興支援委員会が義援金を受け付け、3万3,178円が集まりました。集まった義援金は、日本赤十字社を通じて被災者支援や災害復興に役立てられます。



真心込めた手作りケーキ

小学生事業 「バレンタイン ♡プレゼント」

2月10日、児童館で小学生を対象にバレンタインデーにちなんだ、チョコレートケーキ作りを行いました。小麦粉等を混ぜた生地に溶かしたチョコレートを型に入れ、ふっくら膨らんだ蒸しチョコレートケーキが出来上がりました。粉砂糖をまぶしハートを飾り、箱も手作りしてプレゼント完成！美味しくそうなケーキの出来映えに、参加した16人はとても喜んでいました。



空き家の流通促進を図ります 宅地建物取引業者の2団体と協定を締結

町内の空き家を市場へ流通させ、空き家の解消及び移住定住人口の増加による地域の活性化を図るため、毛呂山町を所管区域とする宅地建物取引業者の団体である「公益社団法人全日本不動産協会埼玉県本部川越支部」および「公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会彩西支部」の両団体と「毛呂山町における空き家の利活用の促進に関する協定」を締結しました。



この協定により、各団体の町内会員事業者の協力を得ながら「毛呂山町空き家利活用促進事業実施要綱」に基づき、空き家の利活用の推進を図っていきます。



『いのち』を大切にする

子育て講演会

1月13日ウィズもろやまで「子育て講演会」を開催しました。

スポーツの安全な環境づくりを提唱する「ASJいのちの教室」と題し、プロライフセーバーである飯沼誠司さんが講演。子育て中のお母さんを中心に、約270人が参加しました。



新春の恒例、消防出初式

西入間広域消防組合消防団出初式

1月7日、毛呂山総合公園入口広場で、出初式が行われました。毛呂山・鳩山・越生の3町の消防団員が一堂に会し、機械器具点検や一斉放水を実施。また、梯子車や手押しポンプの体験などが行われたほか、幼児消防クラブによるダンス、西入間少年少女消防団員による放水訓練、比企鷲土木工業会・比企鷲土木消防記念会による木遣りや梯子乗りなども披露されました。



陸上を通じて学んだ大事なこと

泉野小学校で川嶋伸次さんの講演がありました

泉野小学校の「次代に語り継がれるレガシー創出事業」の一環として、1月16日、5・6年生を対象に、元シドニーオリンピック男子マラソン日本代表の川嶋伸次さんによる講演が行われました。

北京パラリンピック陸上のガイドランナーとして、全盲の選手と練習を重ねてきた経験などをお話されたほか、『1年後までに強くなる』といった大きな目標を立てるのではなく、『次の試合でこういう結果を出す』といった目の前の目標を立て、それを周りに宣言をすることで、絶対に勝たなければいけない状況を作る。』といった、日々スポーツや学校の勉強に励む子どもたちにとって、参考になる言葉がありました。



情熱・志を言葉で伝える

消防職員意見発表会・救急活動査閲



1月20日、ウイズもろやまで、『消防職員意見発表会』と『救急活動査閲』が行われました。17人の消防職員が『消防防災』をテーマに、提案・取組を発表。その後、救急活動シミュレーションを実施し、査閲を行いました。

その他、女性消防団員による消防団員のメッセージ読み上げ、消防職員による防火啓発などについての寸劇を行いました。



みんなで笑って元気いっぱい！

笑いヨガ教室

1月26日、中央公民館で教養講座「笑いヨガ」が開催されました。笑いヨガは、笑いにヨガの呼吸法を取り入れた健康体操で、楽しく、ストレスを減らす効果があるとされています。29人が参加し、講師の真野浩芳先生から、「何でもいいので、ひとつ嘘をついてみましょう」などさまざまなテーマを与えられ、お互いの顔を見合ったり、全身でいろいろなものを表現しながら、大きな声で笑いました。参加者同士の交流も生まれ、心地よい汗をかきながら、大いに盛り上がっていました。



チームの垣根を越え、仲良くなれました！

平成 29 年度スポーツ少年団交流会（第 28 回）

2月10日、総合公園体育館にて、スポーツ少年団交流会が行われました。野球、サッカー、柔道などさまざまな種目で活動している子どもたちが、チームの垣根を越えてグループに分かれ、「ボール運びリレー」、「大縄8の字跳び」を通じて交流を楽しみました。

ボール運びリレーは、2人が背中合わせになって、その間にボールをはさみ、ボールを落とさないように走ります。何回もボールを落とし、なかなか進めないペアもいれば、「いちに！いちに！」と声を出しながら順調に走るペアも見られました。

「大縄8の字跳び」では、各グループの高学年が回し手になり、3分間で何回跳べるかを競います。低学年の子が跳ぶときは少し遅めにしあげたり、引っかかって転んでしまった子には「大丈夫？」と声をかけるなど、回し手の気遣いが感じられました。その後はお楽しみのビンゴゲームを行い、保護者や指導者も交えて大いに盛り上がりました。



鬼はそと！福はうち！

町立保育園の節分行事

2月2日、町立保育園で節分行事を行いました。

子どもたちはクラスごとに作ったカラフルな鬼のお面を被り、ホールに集まりました。先生が用意したひいらぎいけし柀鱒を珍しそうに見たり、ピアノの伴奏に合わせて「鬼はそと、福はうち」と元気よく歌う姿が印象的でした。



ゆずの里保育園

突如鬼が姿を現し、子どもたちは恐怖で逃げ回りましたが、勇気をふりしぼって豆を投げつけて戦い、なんとか皆で鬼を退治することができました。



旭台保育園